

80歳以上のロボット支援下結腸がん手術後患者における 術後 ADL への短期的影響

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

結腸がん治療の選択肢の一つに手術があります。近年、ロボットを使った低侵襲手術が広く行われるようになり、当院でも導入しています。先行研究では、80歳以上の高齢の方でも、ロボットを使った結腸がんの手術は65歳以上79歳以下の高齢の方と比較しても術後合併症の増加は見られず、安全に行える可能性が示されています。しかし、手術が体にやさしくても、入院によって身体機能が低下する「入院関連機能障害 (hospital-associated disability: 以下、HAD)」については、明らかになっていません。このHADは、退院後の生活に影響することが知られています。

この研究では、ロボット支援下で結腸がん手術を受けた80歳以上の高齢患者さんにおける、HADの発生割合とその特徴を明らかにし、今後のリハビリや周術期管理の質を高めることを目的とします。

診療記録をもとに情報収集します。新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2023年2月1日～2025年9月30日の期間に当院で結腸がんのロボット支援下手術を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、BMI、介護保険利用の有無、手術時間、手術からリハビリ開始までの日数など
使用開始予定日：2026年2月17日

研究予定期間

2026年2月17日～2026年12月30日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 リハビリテーション部 内田 悠太

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 リハビリテーション部 内田 悠太

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)